



# セネガル国月報

2015年3月

在セネガル日本国大使館



## 主な出来事

### 内政

- 17日、サル大統領は、大統領任期を7年から5年に短縮するための国民投票を2016年5月に実施する旨を発表した。
- 21日、野党 PDS の党大会において、カリム・ウッド元大臣が同党の次回大統領選挙における統一候補者として選出された。
- 23日、財の不正取得抑制のための監査院 (GREI) は、カリム・ウッド元大臣及び共犯の疑いで告訴された9名に対する判決を下した。カリム・ウッド大臣の判決は禁固6年、罰金1,380億 Fcfa 及び財産の没収。

### 外政

- パガノン駐セネガル仏大使は、ラジオ番組において、今般のウッド前大統領によるサル大統領非難を批判するとともに、カリム・ウッド元大臣裁判に関し、判決が無罪であるとしたら驚くべきである旨発言した。
- 25日、サル大統領はブリュッセルで開催されたギニアビサウ・ドナー円卓会合に出席した。

### 経済

- 25日、ジェン SENELEC 総裁は、企業向け手続き窓口を一本化した旨を発表した。これにより、特に中小企業向けの加入契約にかかる時間の短縮が見込まれる。

## 内政

### 1 前政権の不正追及

- 23日、財の不正取得抑制のための監査院 (GREI) は、カリム・ウッド元大臣及び共犯の疑いで告訴された9名に対して以下のとおり判決を下した(24日 Populaire)。
  - カリム・ウッド元大臣: 禁固6年及び罰金1,380億 Fcfa
  - ンバイ・ンジャイ, ピエール・アグボバ: 無罪
  - ママドゥ・プイ, アリュン・サンバ・ジャセ: それぞれ禁固5年及び罰金690億 Fcfa
  - イブライマ・アブドゥ・カリル(通称ビボ・ブルジ): 禁固5年及び罰金1,380億 Fcfa
  - カリム・アブ・カリル, ママドゥ・アイダラ, ンバロ・チャム, エヴリーヌ・ドゥラトル: それぞれ禁固10年及び罰金1,380億 Fcfa
  - 罰金とは別に、国家に対する損害賠償としてママドゥ・プイ, アリュン・サンバ・ジャセ, イブライマ・アブドゥ・カリルの3名が連名で100億 Fcfa, カリム・アブ・カリル, ママドゥ・アイダラ, ンバロ・チャム, エヴリーヌ・ドゥラトルの4名が連名で100億 Fcfa を支払う。
  - 有罪判決が下された8名はすべての財産を没収される。

- 8名によって不正に取得された財の合計金額は690億 Fcfa。

- 23日、カリム・ワッド元大臣弁護団は、判決を不服として最高裁判所に上告する旨明らかにした(24日 Populaire)。
- 23日午後、ダカール市内シェーク・アンタ・ジョップ通り付近で抗議行動を行い、道路封鎖等を試みたトゥサン・マンガ野党 PDS 青年部長他9名が逮捕された(24日 Temoin Quotidien)。
- 23日、ワッド前大統領は、自宅に詰めかけた支持者らに対し、27日にオベリスク広場で政治集会を開催する旨発表した(24日 Sud Quotidien)。
- 24日、カディーリー教団(当館注: 当国四大イスラム教団の一つ) 総カリフの子息であるシェーク・シディル・ヘル・ブナマ氏は、サル大統領に対し、カリム・ワッド元大臣に恩赦を与えるよう求める発言を行った(25日 APS)。
- 24日、ダカール北部に多数居住するレブ族の伝統的指導者(Grand Serigne de Dakar)であるアブドゥライ・マクトル・ジョップ氏は、サル大統領がカリム・ワッド元大臣に対して恩赦を与える可能性に言及した(25日 Temoin Quotidien)。
- 25日、ババカル・ゲイ野党 PDS スポークスマンは、ワッド元大統領はムリッド教団総カリフの要請を受けて27日に開催予定の集会を延期した旨発表した。また、同スポークスマンは、2017年の大統領選挙においてカリム・ワッド元大臣の立候補が認められなかった場合、同党が選挙をボイコットまたは妨害する可能性を示唆した(26日 Temoin Quotidien)。
- 最高裁判所はカリム・ワッド元大臣に関する判決を6か月以内に下す旨発表した(28・29日 Observateur)。

## **2 野党 PDS の動き**

- 17日、エラジ・アマドゥ・サル元法相は、14日にゲジャワイ市で開催された野党 PDS の集会の際にサル大統領を侮辱する発言を行ったとして、国家元首に対する侮辱及び国家の安定を脅かした疑いで逮捕された(18日 Quotidien)。
- 21日、野党 PDS の党大会において、カリム・ワッド元大臣が同党の次回大統領選挙における統一候補者として選出された(22日 APS)。
- 30日、スレイマン・ンデネ・ンジャイ元首相は、2017年の大統領選挙への出馬、野党 PDS からの離党及び新党の立ち上げを発表した(30日 Pressafrik)。

## **3 その他政党の動き**

- 7日、ババカル・ジョップ And Dollel Khalifa(ハリファ・サル・ダカール市長の支持団体)代表は、報道陣に対

し、同市長が 2017 年の大統領選挙に出馬する旨明言した(9 日 Walfadjri)。

- 13 日、与党 AFP は同党ナンバー2 であるエラジ・マリク・ガク氏、マリク・ゲイ同党青年部長ら 12 名を除名した旨発表した(14 日 APS)(当館注:今般、ガク氏、ゲイ部長ら若手党員の一部は、2017 年の大統領選挙に際し同党から独自の候補を擁立せず、サル大統領の支持に回るというニヤス党首の方針に反対していた)。
- 30 日、ベカイ・ジョップ元国防大臣(野党 Bokk Guis Guis コルダ支部長、元 PDS 党員)は与党 APR への入党を発表した(31 日 Observateur)。

#### 4 その他

- 12 日、ジョヌ首相は、国民議会において約 2 時間にわたって議員らとの質疑応答を行った。議題は昨年の落花生の収量、航空運輸、大学紛争、セネガル新興計画(PSE)、国民皆保険、コーラン学校の近代化など(13 日 Soleil)。
- 16 日、ゲジャワイ市ジダ・チャロイ・カウ区役所内にタイヤ約 100 個が保管されていたことにつき、同区役所の家宅捜索及びジェン同区長(野党 PDS 党員)の取り調べが行われた(17 日 Observateur)(当館注:当国では抗議行動等の際、しばしばタイヤを燃やして道路を封鎖することが行われる)。
- 16 日、昨年 6 月 20 日に発生したムスタファ・シセ・ロー国民議会議員宅その他に対する放火容疑で、宗教指導者のアッサン・ンバケ氏(ファル・ンバケ・ムリッド教団第 2 代総カリフの孫)が逮捕された(17 日 AS)。
- 17 日、サル大統領は海外メディアを対象とした記者会見を開き、大統領任期を 7 年から 5 年に短縮するための国民投票を 2016 年 5 月に実施する旨発表した(18 日 Soleil)。
- サル大統領はマドゥ・バジヨ・カマラ新最高裁判長及びシェーク・ティジャー・クリバリ同検事長の任命を発表した(28・29 日 Quotidien)。
- 30 日、国家ライオン勲章の授与式が行われた。受賞者はアビブ・チャム元首相、スレイマン・ンデネ・ンジャイ元首相、シェーク・アブドゥル・ハードル・シソコ元国民議会議長、マドゥ・セック元国民議会議長、パブ・ジョップ元国民議会議長(欠席)(以上グラン・オフィシエ級)、アミナタ・タル経済・社会・環境評議会(CESE)議長、ンバイ・ジャック・ジョップ元共和国経済・社会評議会(CRAES)議長、彫刻家のウスマン・ソウ氏(以上コマンドゥール級)の 8 名(31 日 Soleil)。
- 31 日、ジガンシオール刑務所から受刑者 11 名が脱走した。うち 2 名は、カザマンス民主勢力運動(MFDC)の指導者の 1 人であるサリフ・サジョの片腕と言われたイブライマ・サネ(罪状は恐喝)を含む元 MFDC 戦闘員(4 月 2 日 Quotidien)。

## 1 バガノン仏大使のラジオ出演

- バガノン駐セネガル仏大使は、Radio Futur Media(RFM)の番組において、セネガル空軍の訓練に使用される仏軍機合計4機が近くダカールに到着する旨明らかにしたほか、セネガル軍は仏製の軍用船を多数購入しており、合計500万～1,000万ユーロ相当の売買契約が締結されている旨強調した(7・8日 Observateur)。
- 同大使は、今般のワッド前大統領によるサル大統領非難及び同前大統領によるクーデター等をほのめかず発言を批判するとともに、カリム・ワッド元大臣裁判に関し、判決が無罪であるとしたら驚くべきである旨発言した(9日 Observateur)。

## 2 市民運動「Y' en a marre」関係者の逮捕

- 15日、キンシャサ(コンゴ(民))を訪問中の市民運動「Y' en a marre」関係者ら3名(歌手のFou Maladeを含む)及びブルキナファソの市民運動「市民の箒」関係者1名が、現地市民運動「Filimbi」の発足記者会見に出席した後、コンゴ(民)当局に逮捕された(15日 APS)。
- 18日、「Y' en a marre」のメンバー3名は釈放された(18日 APS)。

## 3 サル大統領のギニアビサウ・ドナー円卓会合出席

- 25日、サル大統領はブリュッセルで開催されたギニアビサウ・ドナー円卓会合に出席した(26日 Soleil)。
- 25日、ギニアビサウ・ドナー円卓会合に出席したシュルツ欧州議会議長は、サル大統領が大統領任期を7年から5年に短縮する意向を発表したことを賞賛し、同大統領は「アフリカ及び世界の民主主義の大黒柱である」と発言した(26日 Temoin Quotidien)。

## 4 その他

- 10日、トゥーレ前首相は、大統領特使としてニューヨークで開催された国連女性の地位委員会第59回会合に出席した(12日 Sud Quotidien)。
- 11日、コナクリで第16回セネガル川開発機関(OMVS)首脳会合が開催され、出席したサル大統領、コンデ・ギニア大統領、アブデルアジズ・モーリタニア大統領、ケイタ・マリ大統領らは、年間を通じたセネガル川の航行を可能にするための河岸の整備、水力発電量を増加させるためのダム建設等について協議を行った(12日 Soleil)。
- サル大統領はセネガルを訪問中のペレイラ・ギニアビサウ首相と会談を行った(16日 Soleil)。

## 経済

- セネガル川流域整備開発公社(SAED)は、2014年のコメの収量につき、過去5年間と比較して33%増の43万トンであった旨発表した(5日 APS)。
- チェス大学応用経済研究センターは、2011年の国内における家庭内労働を金額に換算した場合、同年の国内総生産の約30%を占めるという研究結果を発表した。30%の内訳は、高齢者・子どもの世話11%、食事の支度4.7%、買い物4.3%など(5日 PANA)。
- 12日、サール観光・航空運輸相は、国民議会議長らとの質疑応答において、セネガル・エアラインズ社の負債額は450億 Fcfaに上る旨明らかにした(13日 Soleil)。
- 25日、ジェン SENELEC 総裁は、企業向け手続き窓口を一本化したことを発表した。これにより、特に中小企業向けの加入契約にかかる時間の短縮が見込まれる(25日 APS)。
- 26日、国家ごみ処理計画(PNGD)に関する説明会が開催され、同計画の実施を通じて2,000名の雇用が見込まれる旨明らかにされた。同計画は、イスラム開発銀行及び政府が170億 Fcfaを投じ、ダカール、カオラック、トゥーバ及びティヴァワンで共同実施する予定(27日 Sudonline)。

(注)「セネガル月報」は、セネガルの報道を当館限りでまとめたものです。記事内容は、日本政府やセネガル政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。

(了)